

くまもと県の教員になろう！

特色ある「くまもと県」の教育



子供たちの笑顔のために
みなさんの力が必要です！



「熊本の学び」の推進

- ①学校教育目標の実現に向けて、各学校の特色ある取組を推進
- ②本県の子供たちを誰一人取り残すことなく、最大限に学びを保障する「『熊本の学び』アクションプロジェクト」を展開

子供たちが学びを通して、「わくわく」したり、「やってみよう」とつぶやいたり、「分かった」「できた」という実感や達成感が生まれたりする授業を目指しています

初任者を支える継続した研修の充実

○教育センターによる多様な研修の実施

※初任者研修や従来型の集合研修もありますが…

■オンライン研修

ホームページなどに掲載された動画コンテンツや資料等を各受講者が視聴したり、研修の講師と受講者が、同時双方向的に音声や映像等をやりとりをしたりして研修を行っています

■スクールサポート

学校等からの要請に応じて、県立教育センター所員を派遣し、学校経営・運営等に関すること、教科等指導に関すること等、指導助言します

■自ら学ぶ研修動画 →→ 教育センター内動画コンテンツ **164** 本

○スーパーティーチャー（指導教諭）による指導

スーパーティーチャーによる指導や、研究授業の映像を記録化して提供もされます

でも授業に不安がある…という方に「研修」があります。



「くまもと県」の学校の働き方改革

- ・タイムカードやICカードで勤務時間を適正に管理
 - ・学校閉庁日やノー残業デイ、部活動休養日の設定拡大
 - ※学校閉庁日は93.5%の市町村が実施
 - ※小学校の部活動は社会体育化
 - ※中学校の部活動では、練習日は週5日以内で、平日1日以上、週末1日以上、計2日以上を休みます
 - ・ICT活用による業務の効率化を推進
 - ・スクールサポートスタッフなど、教員の事務作業等の負担軽減のための人材の活用
 - ※スクールサポートスタッフなど配置された市町村：78.3%
- 他にも、学校の行事の精選や、事務のマニュアル化なども取り組まれています！

中学校の部活動の運営においても、「複数顧問制の活用」や「部活動指導員の配置」などの取組を行っており、働き方改革を進めているところです

熊本県内の大学生にアンケートをとり、たくさんの質問がありました。

[Q&A]

Q1:学習面に関してきちんと指導できるかどうか 不安です。

A1:学校では、先輩の先生たちが初任者の先生たちをサポートするための様々なフォローをしてくれます。また、教育センターや教育事務所においても学習面をサポートする研修があり、学習指導について十分に学ぶことができます。

Q2:不登校やいじめなどの問題に対してどのような対応をしたらよいか分かりません。

A2:不登校やいじめは、学校全体で解決すべき問題です。学年の先生を中心に管理職(校長・副校長や教頭)も一体となってサポートします。また、スクールカウンセラー(SC)やスクールソーシャルワーカー(SSW)などの専門家にも気軽に相談できます。心配する必要はありません。

～参考～

・SC・SSWを活用した市町村立学校：91.6%

Q3:保護者対応が大変と聞きますが大丈夫でしょうか？

A3:保護者のほとんどが学校にとっても協力的です。様々な考えの保護者がいらっしゃると思いますが、困ったときには、学校はチームで対応しますので、安心して下さい。校長・副校長や教頭など管理職をはじめ、同僚の先生が必ずフォローしてくれます。

Q4:教員は時間外労働が多く、負担の大きい職業だと言われていますが・・・

A4:現在、県教育委員会では、働きやすい職場づくりのために働き方改革を進めています。例えば、小学校の運動部活動は社会体育に移行しました。また夏休みには、学校閉庁日を設け、冬休みにも学校閉庁日を設ける市町村も増えています。

業務についても、会議・研修等の効率化や特定の教職員に負担がかからないよう工夫し、教材や資料の共有化による授業準備の負担軽減なども進んでいます。

これからも負担を少なくしたり、休みがとりやすい体制にしたりするなど、働き方改革を確実に進めていきます。

○聞きたいことや確認したいことなどありましたら、学校人事課 小中学校人事班 (096-333-2695) に連絡して下さい。

教員採用選考考査PR動画「先輩からのメッセージ」

熊本県教員の魅力、教員を目指したきっかけ、教員の仕事について等、教員採用選考考査の受考を考えている方へのPR動画を熊本県教育委員会ホームページにアップしています。是非、ご覧ください。